


総務産業常任委員会で調査、検討した内容

質疑、意見提言等	調査、検討結果
議会のホームページが、https//化されておらず、安全といえないが今後の対応は。	ホームページのリニューアルに合わせて、通信プロトコルを現在の http// から https// へ変更し、通信を暗号化することで安全性を強化することである。議会では町に対し、速やかに対応するよう求めている。
防災組織に防災係、町内会には火防係もある。関連があり、役員の担い手も少ないため一つにまとめることはできないか。	防火意識の普及を目的として、以前から清水市街地には清水町町内会火防係連絡協議会が、御影市街地には御影連合町内防火班が組織され、町内会ごとに役員が選出され活動している。 自主防災組織は、地域住民が協力・連携して災害に備えてもらおうと平成30年度から町が農村部も含め全町的に結成を呼びかけている。自主防災組織には、防災係を置くこととしているが、火防係と防災係を兼ねるなど町内会等の実情に合わせることもできるとされている。火防組織に関して必要があれば、組織の存続・廃止などを今後のあり方について議論していただくこととなる。
	
上土幌町のように、バイオマスの地産地消に取り組んでほしい。	本町も家畜糞尿を利用して発電するバイオマスプラントの支援を行っているが、送電線接続の課題から一部で進んでいない状況がある。国に対し、管内市町村や関係機関が連携して、循環型農業の重要性を訴えている。電力の地産地消は、今後調査研究を行うことになっている。
雪害への対応について、オペレーターの確保などを含め除雪体制について、将来を見据えた対応を願いたい。	今年度からオペレーター等の人材育成確保対策として、町内商工業の従業員等の資格取得費用の一部を事業所に対して助成を行うなど支援を進めており、除雪業者の確保に努めている状況である。
防災対策の訓練をされたが、町民の参加が一部であった。重要な訓練なので出来れば広く周知し、対応してほしい。	台風や大雨による洪水、地震など予想されるが災害の種類において避難先も変わる。大規模な避難訓練や地域ごとの小単位の訓練など組み合わせて効果的に行い、非常時に備えることとなっている。
未来の子育てについてだが、現在の施策は管内でもトップクラス。それでもなかなか子どもは増えない。単身住宅の空いている住居を、世帯向けにしたら増えるのではないかと。また、外国人の移住の受け入れについて道で説明会があるが、そのようなことも参考にしてはどうか。	単身者住宅は特定公共賃貸住宅として、国の補助を受けて建設したものであり、間取りは1DKとなっている。また、入居要件は、公営住宅に入居できない高い収入階層などとされており、世帯向けには使えない状況である。 外国人に限らず移住希望者に対しては、町の情報を発信し住居や仕事など相談会等を積極的に行っている。
議員は自分のエリアがあると思うが、もう少し全区域に目を向けてほしい。道路の状況、草刈りの様子、排水路に入った土砂はかなり多くあるので見回してほしい。	議員は、住民全体の代表者であり、奉仕者として福祉の向上につながるよう役割を果たすよう研さんを重ねる。町では融雪期とともに、道路及び道路側溝も含めた確認を行っており、緊急度の高いところから補修や土砂上げ、清掃を行っている。町道の草刈は、年2回実施している。

議会報告会と町民との意見交換会

ともに考えよう 防災、未来の子育て

令和元年度の議会報告会と町民との意見交換会は、文化センター（5/28）と御影公民館（5/29）で開催し、延べ51名の参加がありました。
町民との意見交換会は、防災・未来の子育てをテーマに行われました。質疑、意見・提言等を受け、各委員会で調査、検討した結果について、主な内容をご紹介します。
※報告書は清水町議会のホームページ、役場1階の情報コーナー、図書館、御影支所でご覧いただけます。

議会運営委員会で調査、検討した内容

質疑、意見・提言等	調査、検討結果
防災に限らず、このような議員との議論の場があってもいいのではないかと。	団体やグループなどで懇談の要望があれば、議会として対応していく。
「まちづくり基本条例」は、みんなの声を取り上げていくもの。子育て世代の意見を聴くような意見交換会も開催してほしい。	今回、保育所など子育て関係者にも声をかけたが、参加しづらい時間帯となった。団体やグループなどで懇談の要望があれば、都合に合わせて対応していく。
人口減少に伴い、将来的には学校の統廃合問題も生じる。子育て世代の小さな声をひろって対応してほしい。	議員個々が、日頃の議員活動で住民の声に耳を傾け、対話を重ね課題解決に向けて取り組んでいく。
地元で育った子どもの働く場、受け皿をどう作っていくのか。高校生の声も聞くなどしては。	模擬議会などを通して学生と懇談をするなど、議会としても対応する。また、議員個々が、日頃の議員活動で住民の声に耳を傾け、対話を重ね課題解決に向けて取り組んでいく。
テーマはいいが、議会としての意見を持って取り組んだほうがいいのではないかと。	参加しやすいテーマを設定し、住民の意見を広く聞く目的で開催している。課題については、議会内で議論を重ね解決に向け取り組んでいく。
行政に要望するというフレーズが多かった。議会が決めるという気概がほしい。代議員であるのだから。	議会は、町の政策を作る過程及び政策を実施する過程に参画し、意思決定を行っている。ほとんどの政策は町（執行機関）で作られ、議会に提案されているが、議員は本会議や委員会での質問、質疑等を通して、間接的にかかわり、予算、契約、条例等の審議において、町の最終的な意思決定を行っている。
	
議員各位の活動量、質、情報発信力を今一層みがいてください。現状維持では駄目です。一歩二歩前へ進む議論と行動につながることを期待しつつ、目に見える議会であって下さい。	住民全体の代表者であり、奉仕者として、福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指し「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を達成できるよう、自己研さんを積んで資質の向上を図っていく。
なかなか発言のしにくい空気を感じた。	意見交換しやすくなるように、円滑な司会・進行を行うなど、工夫を重ねていく。
浦幌町、更別の話で出ていたとおり本町も立候補者不足で選挙にならない事態が考えられるので、早めに手を打っておくべきと考える。	今回の選挙では、立候補者が定数を2名上回ったところである。住民側も自分事として、自分が議員だったらという発想でまちづくりに関心を持っていただければ、議会も取り組んでいく。